

# 耐力壁の量や配置に注意する

## ●壁の量・配置と材同士のつなぎ目を確認

地震や台風のとときは建物に大きな力が加わります。耐える強さがないと、建物は崩れ落ちたり傷付いたり……。せっかく建てるなら、そうした事態は避けたいものです。法律を守って建てるなら大丈夫なのが原則ですが、安全に対する考え方は人それぞれだし、どうしても心配が残るといふ人もいます。

では、どうすれば……。まずは住まいづくりのパートナーであるプロと、どの程度の安全性を目指すのか相談することです。ご自分で確かめるなら、外からの力を受け持つ「耐力壁」という壁に着目します。いわゆる木造軸組では筋交いの入った壁です。この耐力壁の量と配置を、とお考えなら、要注意。問題はないか、確かめておきましょう。このほか、材と材とのつなぎ目をしっかり固定しているか、も見過こせない点です。

## ●雨漏り、浸水は壁の中で木材を腐らせる

台風と言え、大風ばかりではなく、大雨も付きものです。住まいづくりのトラブルでいちばん多いのが雨漏りというくらい、住まいを新しく建てる時、雨は「天敵」です。大雨に見舞われても雨水の入り込んでくるのを許さない、しっかりした造りをするということです。

地域によっては、大雨で浸水の恐れもあるかもしれません。市町村の中には、防災担当部署で「洪水ハザードマップ」という洪水の危険性を示した地図を作っているところもあります。心配のある地域ではまず、こうした情報を手に入れて危険性を調べます。そのうえで、浸水にあわないように、あっても被害を最小限に食い止めるように、設計面に対策をとることが必要です。雨漏りも浸水も、湿気の抜けにくい壁の中で木材を腐らせる原因にもなります。そうすると、地震や大風に耐える力がいつの間にか弱まりますので要注意です。

## 耐震住宅

### ●耐震性のある住まいを造るチェックポイント

|                                                                                                                                                                                         |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>家の安全は、まず敷地から</p> <p>軟弱な地盤や埋立地、不完全な土止めをした盛土などの上に建てた家は大変危険。土地を買う前に、役所の建築課で調べたり、民間の地盤調査会社に問い合わせるとよい。地盤の固さを調べるにはスウェーデン式サウンディング方式という調査方法がある。</p>                                          |
| <p>構造や工法よりも建て方が問題</p> <p>地震に強いと言われている鉄筋コンクリート造も、地震に弱いと言われている木造軸組工法も、基本的には優劣がないとある建築家は言う。要するに、工法よりも建て方に問題があると。木造軸組工法の場合、対角線に取り付ける筋交い（補強材）の数を多くすることによって強度が増すので、建築基準法に定められた基準を守ることが大事。</p> |
| <p>設計・施工をきちんとする</p> <p>高気密・高断熱の家も、設計・施工がきちんとされていないと、壁の内部が結露して、築年数がそれ程でなくても家がぼろぼろになり、大きな揺れに耐えられなくなることもある。このように、設計にミスがあったり、手抜き工事があると家の安全性に問題が出てくるので、注意が必要。</p>                            |
| <p>基礎ではベタ基礎が最も強固</p> <p>木造や鉄筋コンクリート造の家の基礎は布基礎と言って、割栗石と捨てコンクリートの上に、断面が逆T字型の鉄筋入りコンクリートを乗せた基礎が多い。しかし最近主流となっているベタ基礎は、地面全体に鉄筋入りのコンクリートを張っているの、建物全体を支えることができる。地震には最も強い基礎と言える。</p>             |
| <p>和室の多いプランは避ける</p> <p>和室はふすまや障子で部屋を仕切るため、ドアを取り付ける洋室よりも壁の面積が小さい。地震で外から強い力が加わった場合、四方で均一に支えることが難しくなるのでふすまや障子による間仕切りはなるべく避けた方が無難。</p>                                                      |
| <p>重い屋根は避ける</p> <p>阪神・淡路大震災では、屋根の上に土を乗せた瓦葺きの家がほとんど倒壊した。瓦を乗せた家は上部が重く、地震の激しい揺れによって建物の構造部分が重さに耐えられなくなると、倒壊の恐れが出てくる。</p>                                                                    |